JEITA流通POS端末専門委員会の皆様

工業会JEASのご説明
2025年3月13日

セルフレジ不正防止のための冊子作りのための委員

ECR ヨーロッパの2018年の調査によるとセルフレジの売上構成比が１％増えるとロスは0.01％増えるとあります。つまり、売上構成比が50％となるとロスは0.5％増えることになります。

その対策として「セルフレジ不正防止のための冊子作りのための委員」を立ち上げ、５月23日、６月23日に会合を行い、業界統一の冊子の作成しております。

日本NCR（株）、グローリー（株）、寺岡精工（株）、東芝テック（株）、ＮＥＣプラットフォームズ（株）、富士通フロンテック（株）に参加いただいております。

JEAS会報2023年夏号より　https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230630.pdf

セキュリティショー2025 JEAS 特別セミナー
AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性
2025年3月4日（火）15:30～16:30

司会：丸の内総合法律事務所　弁護士　木村 一輝 氏

Casley Deep Innovations　執行役員　黒岩 佳加 氏
演題１：小売・物流などでのWeb3の最新事例

高千穂交易　マーケティング戦略推進部RSプロダクトチーム
チームマネージャー　佐久間 博之 氏
演題２：Veesion　AI映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム

セーフィー　営業本部 第1ビジネスユニット 副部長　佐伯 穂高 氏
演題３：映像×AIによる店舗の課題解決

アーカイブ動画配信中（最初と49分からが工業会説明）
https://forms.office.com/r/AjWdsWiA94

JEAS推薦図書

工業会 JEAS 推薦製品 No.004

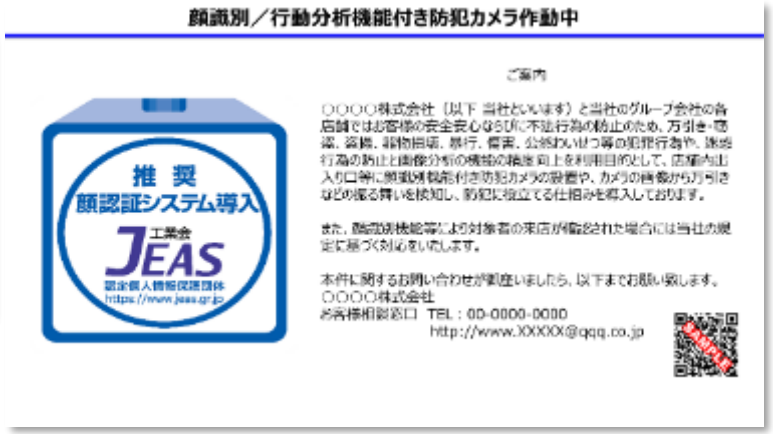
JEAS 推薦製品 No.007

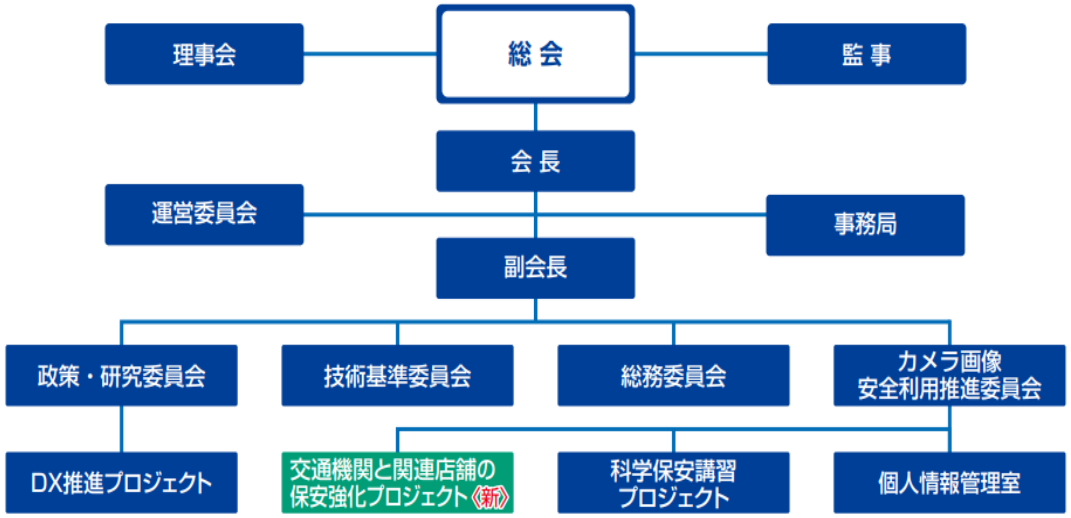
推奨 顔認証システム JEAS カメラ画像安全利用推進委員会 https://www.jeas.gr.jp

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

1．EAS機器＆カメラの工業会及び認定個人情報保護団体としてのJEAS

名称 ： 工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）
　　The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.
設立 ： ２００２年６月
会員数： 正会員４７社、賛助会員１３社、特別会員９団体
認定個人情報保護団体 対象事業者数：15社
事業 ： 万引防止システムの普及を通した社会貢献～ロス削減、安全安心～
認定 ： 経済産業省・中小企業庁より工業会認定
2018年2月1日より、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明[分野:EAS〔電子商品監視機器〕、防犯カメラ〔赤外線サーモカメラ含む〕を行う工業会業務開始。
個人情報保護委員会　認定個人情報保護団体　認定
2020年9月18日理事会において、EAS機器と防犯カメラ（赤外線サーモカメラ含む）の工業会として認定個人情報保護団体に申請することを決定し、同日個人情報保護委員会に申請し、2020年9月30日に認定団体となる。
150ある工業会としては初！
個人情報保護指針：https://www.ppc.go.jp/files/pdf/48_jeas_shishin.pdf
AI利用の方針 ：https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240712-2.pdf





所在地： 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階　TEL 03-3355-2322
infonew@jeas.gr.jp

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

2.顔識別機能付きカメラシステムなどのガイドやJEAS個人情報保護指針

個人情報保護委員会 > 広報・お知らせ > 犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について　資料一覧

犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について　資料一覧

「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」資料一覧

個人情報保護委員会は、令和５年３月、「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」（以下「本文書」という。）を決定しました。これは、令和４年１月に設置した犯罪予防や安全確保のためのカメラ画像利用に関する有識者検討会（座長：宍戸常寿 東京大学大学院法学政治学研究科教授）がとりまとめた報告書を審議の上、個人情報保護委員会から公表したものです。

本文書に関連する広報資料をご用意しましたので、ご活用ください。

広報印刷物

「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」リーフレット
(令和5年6月)
クリックしてダウンロード (PDF：427SKB)

「民間事業者向け　カメラと個人情報保護法」パンフレット
(令和5年12月)
クリックしてダウンロード (PDF：3412KB)

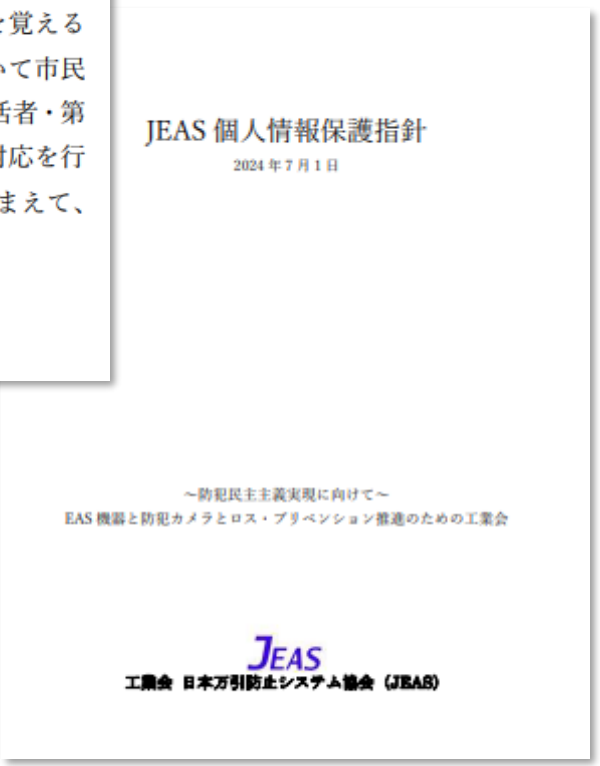
出典：https://www.ppc.go.jp/news/camera_related/

＜法の理念と考え方＞

法第３条は、「個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、その適正な取扱いが図られなければならない。」としています。これは、個人情報が個人の人格と密接な関連を有するものであり、人格尊重を旨としてその適正な取扱いを図らなければならないとの基本理念を示しています。当協会をはじめ、当協会の対象事業者においては、法の定める規律を遵守するにあたって、この基本理念を十分に踏まえ、法の目的を実現するため、個人情報の保護及び適正な取扱いをする必要があります。

また、当協会は、EAS（電子商品監視機器）及び防犯カメラ・赤外線サーモカメラの工業会として、上記の法の理念を踏まえて、カメラの利用について、法にのっとり、市民の理解が得られるように活動を行ってきました。近年、AI が発達する中で、市民が不安を覚えることが増えており、市民の理解を得ることの重要性は増しています。AI 利用について市民の理解を得るためには、ステークホルダーへの丁寧な説明を行うとともに、地域生活者・第三者視点でのチェックが不可欠です。また、AI を導入した後であっても、適切な対応を行わなければ、市民の理解を失ってしまいます。対象事業者においては、上記の点を踏まえて、「職業専門家」としての矜持をもって、活動することが期待されています。

- 2 -



JEAS 個人情報保護指針

2024 年 7 月 1 日

～防犯民主主義実現に向けて～
EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

JEAS
工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

JEAS個人情報保護指針第4版（2024年7月）木村一輝弁護士監修
https://www.ppc.go.jp/files/pdf/48_jeas_shishin.pdf

3．工業会JEASの会員数と業種の変化

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

2011年総会員数26社(EAS機器協議会→日本万引防止システム協会)

●正会員
1 アイデックコントロールズ㈱
2 ACTUNI㈱
3 ㈱エスキューブ
4 エム・ケー・パビック㈱
5 ゲンゼ㈱
6 ㈱コージン
7 ㈱ジーネット
8 シグマ㈱
9 ㈱ジャストコーポレーション
10 住友スリーエム㈱
11 西武産業㈱
12 高千穂交易㈱
13 タカヤ㈱
14 チェスコムアドバンス㈱
15 ㈱チェックポイントシステムジャパン
16 ㈱店舗プランニング
17 ㈱トスカ
18 松尾産業㈱
19 ㈱三宅
20 ユニチカ㈱
21 ユニパルス㈱

●賛助会員
1 セコム㈱

●特別会員
1 NPO法人　全国万引犯罪防止機構
2 タグ＆パック事務局
3 公益社団法人　日本防犯設備協会
4 一般社団法人　日本自動認識システム協会

EASと防犯カメラの工業会
認定個人情報保護団体
・国内外防犯カメラー企業
・顔認証やAIカメラ企業
・POSレジ企業
・広告関係企業
・棚卸企業
・保安警備企業
・RFID関連の企業

2025年総会員数69社

【正会員】

企業・団体名	企業・団体名
アイアンドティテック（株）	CIA（株）
IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株）GeoVision
AWL(株)	シグマ(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)	セコム(株)
アースアイズ（株）	セフトＨＤ（株）
(株)アジラ	ダイワ通信（株）NEW
アドセック(株)	高千穂交易(株)
(株)エイジス	タカヤ(株)
ＮＥＣソリューションイノベータ（株）	チェックポイントジャパン（株）
エム・ケー・パビック(株)	(株)店舗プランニング
企業警備保障（株）NEW	日本アクア開発（株）
(株)Casley Deep Innovations	日本NCRコマース（株）
(株)キャトルプラン	日本電気(株)
(株)杏林社	ネクストウェア（株）
Dahua Technology Japan(合)	HIKVISION JAPAN(株)NEW
グローリー(株)	パナソニック コネクト（株）
(株)ゴジョウ・ウェイズ	富士通フロンテック（株）
(株)KSM	ビブリオテカ・ジャパン（株）
(株)サイエンスアーツ	HOUSEI（株）NEW
サクサ（株）	マイティキューブ（株）
三和コンピュータ（株）	(株)三宅
(株)JSS	リアルネットワークス（株）
(株)セキュリティデザイン	Loss-Controls（株）
セーフィー（株)NEW	

正会員数 47社

【賛助会員】

企業・団体名
(株）アスタリスクNEW
(株)アスラポ
亜細亜印刷(株)
（株）自己啓発協会
（株）セキュアリンク
三愛化成商事（株）
チェスコムアドバンス(株)
（株）ＮＩＣＣＯサポート
（株）日本保安
（株）パトライトNEW
（株）ボックス・ワンNEW
（株）ＵＡＣＪ
（株）ロケット

【特別会員】

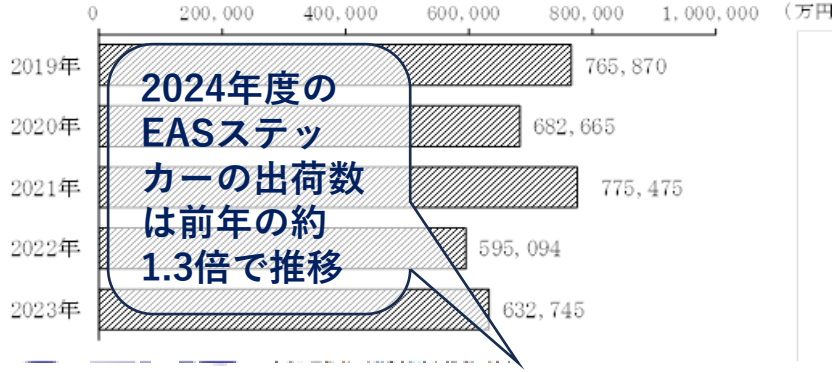
企業・団体名
一般社団法人ソフトウェア協会
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人　全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人リテールAI研究会
タグ＆パック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

※50音順(2025年2月7日)

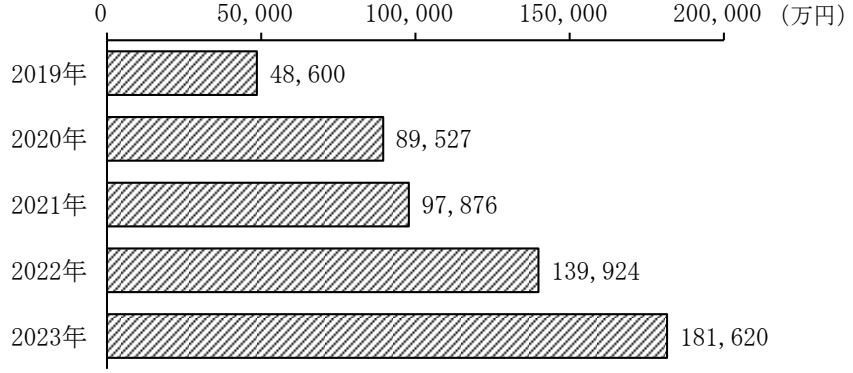
市場が伸び悩んでいる原因は？
①PoCの進め方が不慣れなのか。
②データガバナンス作りが進んでいないからか。そのためデータガバナンスに力点をおく。

(参考)万引防止システムの市場規模に関する調査

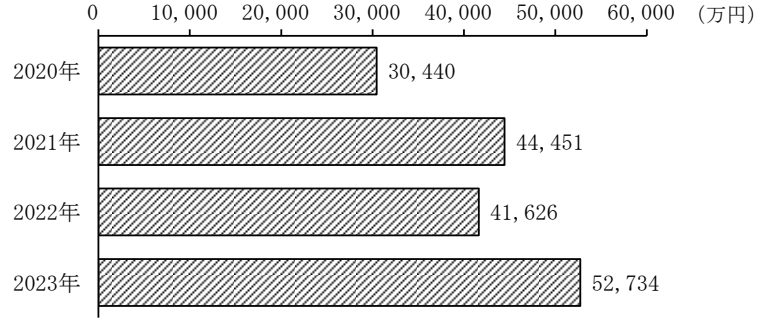
EAS機器の売上推移



顔認証システムの売上推移



AIカメラの売上推移



4．画像と文字のAI 利用について社会のご理解をいただくためのお勧め事項 2024.7.14

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

画像と文字のAI利用について 社会のご理解をいただくためのお勧め事項

～地域生活者の皆様などからのご理解・ご支持をいただくために～

画像や文字のAI利用が進む中で、各ステークホルダーに公正な情報をお伝えするためのポイントを纏めました。日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお勧めします。

監修：丸の内総合法律事務所　**木村　一輝**　弁護士

ステークホルダーへの丁寧な説明

1. 顔認証や不審動作検知を使う理由を明確にする。防犯・防災はもとより、商業利用においても地域生活者の利便性向上に言及するようにしてください。組織内部や関係者や行政側担当者などから、正しい理解がなされるよう、もれなく丁寧に説明を実施してください。画像から文字を生成する場合も同じく利用目的を明確にしてください。
2. 防犯利用と商用利用を併用する場合も、開始一ヵ月前より店頭告知やホームページなどに利用目的をあきらかにしてください。個人を特定している来客対応は本人同意を得ていることを明示し、属性分析だけの場合は個人情報をすみやかに消去することを明確に伝えてください。防犯利用は一般の方を対象にしているのではなく、具体的な罪名(万引や強盗など)をあげ、登録は犯罪を敢行した者だけに限定していることを説明してください。
3. 使用するAI技術についてオントロジーをベースに、XAIやアノテーションを可能な限り公表し、システムがブラックボックス化していると思われていないよう努めてください。JEAS推奨の顔認証システムや推薦製品であることも付記ください。
4. サイバー攻撃等のセキュリティについて、ファイアウォール、デフォルト設定の廃止、VPN、Web3.0(秘密分散)、USB利用も含め、強力な暗号化やパスワード対策がされていることを忘れずに説明してください。

工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20241012.pdf

導入後の適切な対応

10. 導入後の定期監査の実施と具体的な効果検証の発表が一番重要であり、その組織体制も含め公表することが望ましいです。登録内容や保存期間への言及や消込の徹底も重要です。
11. 問い合わせ先は明確に告知し、情報開示請求の受付方法も誠実さが伝わるよう心掛けてください。
12. 報道内容に誤りや誇張があった場合の記事訂正をお願いする方策を知っておくと良いと思います。
13. 対象システムおよび接続する機器において、個人情報の漏えい等の発生を認識し、または発生したおそれがあると判断したときは、直ちに委託先も含む関係者間で情報共有し、漏えい等の拡大または再発を防止するために必要な措置を講じてください。
14. サービス利用規約等に「不適切利用が確認された場合はシステムの利用を停止する」旨を記載し、実際にそのようなことが発生した場合は、適切な助言をお願いします。

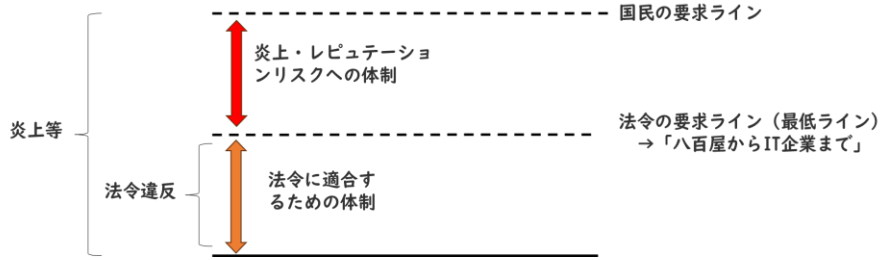
本文中の用語説明

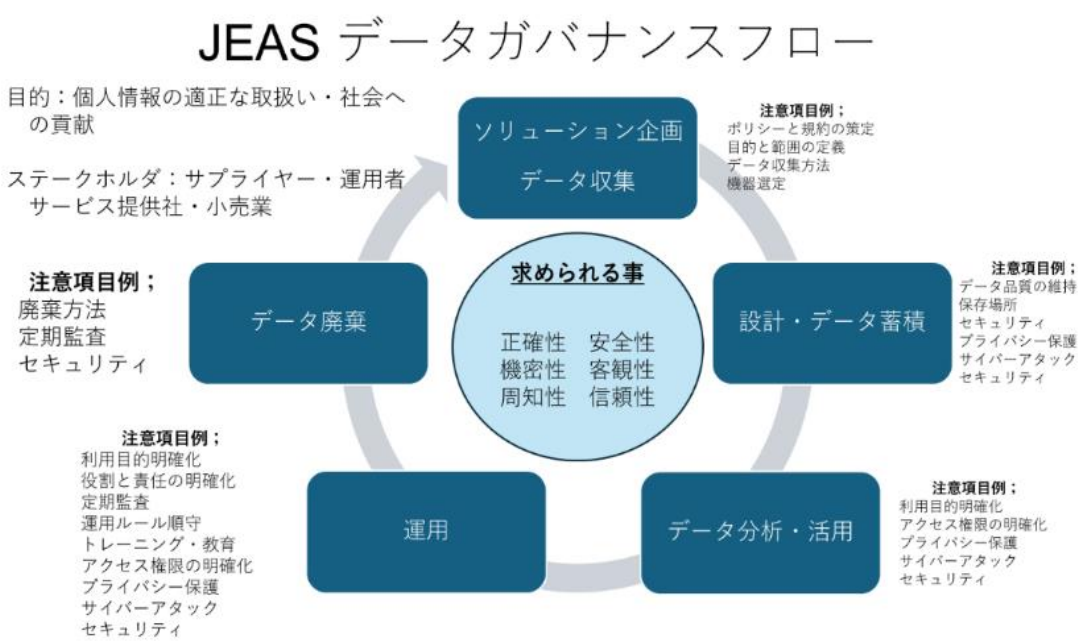
オントロジー	知識ベースを構築する際、語彙や意味、関係性を他人とも共有し知識の再利用を容易にすることをオントロジーという。オントロジーは、もともと哲学用語で「存在論」を意味していました。目の前にある具体的なモノ（存在者）の個別的な性質を超えて、そうしたモノを存在させるメカニズム（存在）を問題化し考察する形而上学の一分野がオントロジーでした。転じて情報科学の分野では、「概念化の明示的・形式的な仕様」と定義されます。知識やデータ処理について記述する際のルールブック、仕様書が必要であるという考え方です。
アノテーション (annotation)	あるデータに対して関連する情報（メタデータ）を注釈として付与すること。XML等の記述形式を用いてメタデータをタグ付けする場合が多く、付与したメタデータやタグを指してアノテーションという場合もあります。

5．JEASデータガバナンス＊タスクフォース　合宿報告2024年11月28日（木）10:30～29日（金）

AI推進のためのデータガバナンス 熱海小嵐宣言

国際的な情勢として、先進国だけでなく、あらゆる国で、画像や文字のAI利用が防犯防災の中で進んでおります。同じく、省人化や効率化が小売業や介護や工事の現場などで不可欠な要素になっております。それを永続的に推進していくためには、データガバナンスを構築しなければなりません。
データガバナンスの重要性については、様々な説明がなされますが、1つの説明として、以下のような説明があります。つまり、法令に適合するための体制だけでなく、国民の要求ラインやニーズに合わせて、炎上・レピュテーションリスクへの体制作りが求められています。このことを日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお勧めします。





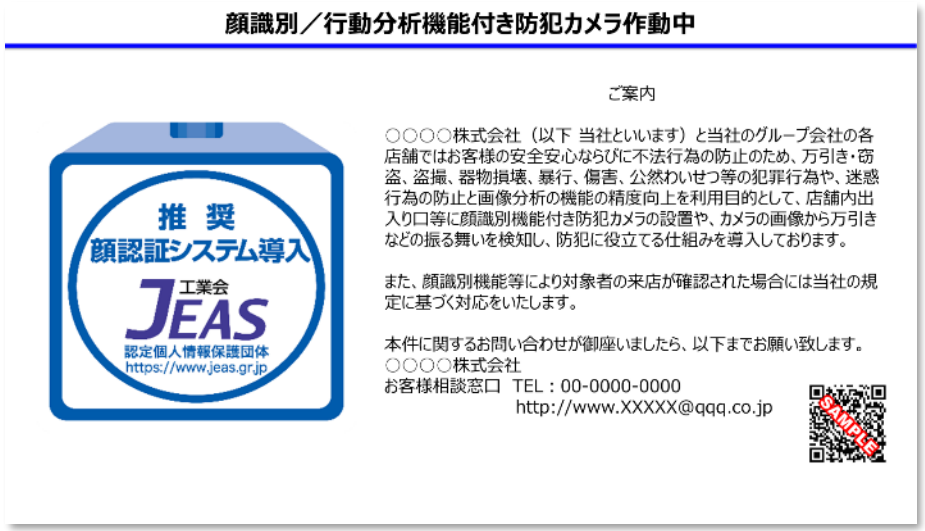
☆皆様との双方向でのコミュニケーションのために

お客様のニーズに応じて、映像データや連携する各種データを活用し、現状及び今後の課題解決のサポートを行い、目指す姿である安心・安全な社会作りへの貢献を実現するためには、データの適切な取扱いが必要不可欠です。映像や文字データが不適切に取り扱われるようなことがあれば、個人のプライバシーへの影響はもとより、監視社会への懸念、差別や偏見の助長、ひいては防犯民主主義などの私たちの社会の根幹を成す価値観への脅威にも繋がりかねません。データの適切な取扱いを確保するためには、プラットフォームを活用いただくお客様等の皆様にも、考え方を共有していただくことが不可欠です。そのため、私たちは、地域社会を含むステークホルダーの皆様との双方向でのコミュニケーションに努め、協力してAI推進のためのデータガバナンスの実現を目指します。個人の皆様の目線に立って、継続的な対話を行う等、透明性を高める仕組みを整えるよう努めます。

JEAS会報2025年春号より　https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250201.pdf

6．第６回推奨顔認証システム検定制度の開催ついて

第6回推奨顔認証システム検定申込受付中　審査は2025年7月22日･23日
ご案内　https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250221-1.pdf



JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

7．第５回科学保安検定講習会の開催について

第5回科学保安検定講習会開催　2025年9月25日
ご案内　https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250221-2.pdf

受講者の声（アンケートより）

- マスク対応の推奨顔認証システムは警備にとって心強い味方だ！と感じました。
- 市川ビルのロス削減の話（施設警備と保安警備の連携）がとても興味深く感じました。
- 防犯目的での範囲を超えないようにデータの取り扱いに注意したいと思います。
- 従業員・警備員と情報共有により、より安全な店舗さらには地域を構築できることを説明していきたい。
- 今回学んだことをお客様にも知っていただき、店舗に応じた改善策を提供できるよう取り組んでいきたいと思います。

科学保安・LP推進店ステッカー貼付式

株市川ビル 2021 11/16

ステッカー1号店の件、誠に光栄な話です。

弊社内でも情報共有しましたところ、社長の田平も大変喜んでおりました。もっと大きなステッカーは無いのか！と申しておりました。（笑）

ビル内外にステッカー掲出の経緯や説明をポスター化させて頂き、掲示出来ればと考えております。

JEASの行動力と取り組みが、色々な波及効果を生み始めていると感じます。皆様が利益だけではなく、社会や業界全体のことを考えているからこそでしょう！

今後も益々のご活躍を期待しております。

株市川ビル 取締役 長田 泰文

警備室での認定審査

店頭での貼付式

工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

8．推薦製品のための検定制度（随時受付）

工業会認定 5周年 記念事業

推薦製品認定のための検定制度

Systems and Services recommended by the Industrial Association JEAS

工業会認定5周年を記念し、2023年度のテーマ案である
「ロス対策・パラダイムシフト＊つながる心が生む新世界」
に合わせ、JEASの理念に沿ったシステム・サービスを
「推薦製品」とする制度を設けます。
2022年に試験運用を重ね、2023年6月2日の通常総会
をもって決議し、正式にスタートします。
※推薦マークはデザインAまたはデザインBからお選びいただけます。

デザインA

デザインB

推薦の方針

『「万引き防止策」の強化について（通知）』に関する対応、JEAS新活動宣言、防犯民主主義の実現＆攻めの防犯、JEAS永劫の使命、記事共有のお願いに照らし、地域社会及び小売業等の皆様に自信をもって「推薦」することができるシステム・サービスであることを認める制度です。
ICT技術やAIなどの進化に伴い、密集・動線・購買調査、統合型NVR、多機能クラウドカメラ、棚卸分析、防犯等情報共有、自動会計、出退勤・入退室管理（顔認証やRFID含む）、配膳、ロボット配送、見守り・介護補助などで実用化されたものを幅広く対象とします。
※本制度の申込書・要綱（word版）はこちらです。https://www.jeas.gr.jp/20230203.docx

推薦条件

JEAS入会条件である電波法や電安法などの関連法令の遵守やシステムセキュリティ対策や業務監査は基より、以下の事柄についても書面をもって政策・研究委員会が提出内容を確認します。
申請企業がJEAS対象事業者として、製造・輸入・販売のいずれに携わっていること。

01 個人情報保護委員会などの公的機関または公正な第三者機関によって確認されたガイドラインや運用マニュアルを有すること。無い場合は要相談のこと。
02 市場での半年以上の運用実績を持ち、5社以上の公表ユーザー様がいること。
03 JEASの市場調査や技術アンケート調査に対し、積極的に協力していること。
04 自由主義国家より何らかの販売制限を受けていないこと。
人権抑圧や環境破壊などの反社会的な目的で使用されていないこと。

注1 バージョンアップやファームウェアーの変更があっても再申請は不要。
注2 審査対象によっては技術基準委員会やカメラ画像安全利用推進委員会の協力を得る。
注3 製品の特性上、審査項目に該当しない場合は、政策・研究委員会で総合的に判断する。
注4 EASゲートや小売業向け推奨顔認証システムは認定制度があるため、その分野の製品は受け付けない。
注5 上記の推薦条件に対し、重大な逸脱行為、信用の毀損行為により、当工業会に損害を与えた際は、その賠償責任を負うこと。推薦を取り消したことをHPで公表する。

今後の予定

今期は試験的に2つのシステムを「推薦製品」とし、運用面の問題点を検討します。その上、通常総会後に、正式に審査の受付を開始します。年5回開催の政策・研究委員会で審査し、「推薦製品」とした場合、「推薦製品」認定マーク及び33,000円（税込）の費用請求を会員申請企業にデータ送付します。会員外企業の申請費用は66,000円（税込）となります。なお、「推薦製品」した製品・サービスは当工業会のHPで公開します。
※Word版・PDF版では、　　は原文へのリンクとなっております。リンクを開いてご確認ください。

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 政策・研究委員会
認定個人情報保護団体

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230202-2.pdf

≡ 高千穂交易：万引き行動検知システム「veesion」が日本万引防止システム協会の「推薦製品」に認定 1/3

TK 高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

報道関係者各位

2025年3月6日
高千穂交易株式会社

万引き行動検知システム「veesion」が日本万引防止システム協会の「推薦製品」に認定

～AIで万引き常習犯を特定・排除し、店舗スタッフの負担を軽減～

高千穂交易株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：井出尊信、証券コード：2676、以下「当社」）が取り扱う、AI映像解析技術で万引き行動を検知する「veesion（ヴィージョン）」が工業会 日本万引防止システム協会（以下、JEAS）の定めるシステム認定基準と運用認定基準に関する試験に合格し、JEAS推薦製品の7機種目として認定されたことを発表します。

◆ veesion：https://www.takachiho-kk.co.jp/prod/cctv/veesion/

【JEAS推薦製品に認定された背景】

ドラッグストアを対象とした転売目的の組織的な万引き事件が発生するなど、大量窃盗による被害が近年深刻化しています。人手不足もあり、万引き対策は店舗運営における大きな負担となっています。このような課題を解決するため、当社はAI映像解析技術で万引き行動を検知する「veesion」を2024年9月より提供しています。
この度veesionはJEASの定めるシステム認定基準と運用認定基準に関する試験に合格し、「JEAS推薦製品」として認定されました。「JEAS推薦製品」とは、JEASが地域社会及び小売業等に向けて推薦できる製品を定め、その製品の普及を図る目的で定めています。

日経会社情報DIGITAL

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

9．令和7年度通常総会・大プレゼン大会　JEAS AWARD2025

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

公式パンフレット
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250318.pdf

10. その他

公式パンフレット
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250206.pdf
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250303.pdf

スポンサーとブース出展でロス・リベンション会議の主催
https://japan-retail.or.jp/jra_activities/26_aprce_tokyo/

ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について　~各方面で活躍するロス対策士~

副会長　近江　元

全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に着けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS 会員など多数の方々がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

さて、ＪＥＡＳでは、ロス対策士検定試験の受験を促進するためにＪＥＡＳ会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度（図書カード進呈）を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

◆JEAS 企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf

◆ロス対策士検定試験は年３回予定されており、詳細は、全国万引犯罪防止機構のホームページをご覧ください。https://www.manboukikou.jp/exam-about/

☆新たな知識と情報を共有に向けたフェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティが好評です！
フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。

認定ロス対策士（LPJ）
Loss Prevention Certified of Japan

JEAS会報2025年春号より
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250201.pdf

大手小売業のAI・DX施設を10月末に視察を企画中
https://www.city.miyawaka.lg.jp/kiji00344697/index.html